

# シェイクスピア作「ジュリアス・シーザー」

200203

幕	場	場面	内容	頁	主な登場人物					その他	
第一幕 34頁	1	シーザーの凱旋	護民官は、ポンペイウスを倒してからの凱旋なので、シーザーを讃えることを許さず平民達を解散させる。	9	13						フレウアス・マラス
	2	キャシアスのひがみ	占い師は、凱旋するシーザーに「3月15日には気をつけて」と言う。シーザーからいつでも目の仇にしているキャシアスは、中傷する手紙をシーザーの家に投げ込むことにした。しかし、殺意は持っていない。	14	33	キャスカ	キャシアス	ブルータス	シーザー	アントニー	カルパニア 占い師
	3	ブルータスを引き込む	キャシアスはキャスカに対して、信ずるに足る同士から、名誉と危険に満ちた大事業つまり共和制を確保するための共同行動の同意を得ている、と言う。、あとは、ブルータスを、同様に引き込むだけだ、と。	34	43	キャスカ	キャシアス				キケロ シナ
第二幕 35頁	1	ブルータスのシーザー殺害理由	シーザー暗殺に同意したブルータスは、①いったん権力を身に帯びると、人間は暴虐に達しかねないので、卵のうちに殺さねばならない。②キケロは他人の始めたことに黙って付いてくる男でないので、メンバーから除外する。③正義という大義名分に反するので、アントニーの殺害をしないことにした。ポーシャが、「こっそり寝床を抜け出したりしてひどい方ね。」と不審な行動のブルータスを問い詰める。	44	64		キャシアス	ブルータス			ブルータスの妻ポーシャ ブルータスの小姓
	2	シーザーの外出	シーザーが殺害される夢を見た妻カルパニアは、外出に反対するが、ディシアスから王冠授与があると言われ、外出することになり、アントニー、ブルータス達が迎えに来た。	65	73			ブルータス	シーザー	アントニー	カルパニア
	3	不安なポーシャ	議事堂に近い街路で、修辞学教師のアテミドラスが、シーザーへの警告文を読み上げる。 ブルータスの苦悩を知ったポーシャは、「秘密を守り通すのが、これほど女にとって、辛いとは。」	74	75						アテミドラス
第三幕 38頁	1	シーザーの死	通りかかったシーザーの問いに、占い師は、「まだ、3月15日は終わっていない。」と答える。 議事堂に入ったシーザーに対してメテラス・シンバが、ブルータスと共に追放された兄の赦免を求める。スキを見て、キャスカが背中から、他の暗殺者もシーザーを刺し殺す。ブルータスは、「自由、解放、平和はまさに蘇った。」と自己満足する。アントニーが来てブルータス達と和解の握手をしながら、復讐を誓う。	80	97	キャスカ	キャシアス	ブルータス	シーザー	アントニー	占い師・ディシアス・シナ アテミドラス・パプリアス メテラス・シンバ・ホビリアス トレホニアス
	2	ブルータスとアントニーの追悼演説	ブルータスは市民に対して、私はシーザーを愛していたが、それ以上にローマを愛していた。しかしシーザーは、王になろうという野望を抱いていたので暗殺した、と説明する。次にアントニーは、追悼演説の中で、私心に捕らわれていないシーザーの過去の栄光並びに遺言書の中身を具体的に話すので、そこにいた市民達は、ブルータス達への認識が変わり、復讐のためにブルータス達の家を焼き払うことになった。民衆の気配に気づいたキャシアスとブルータスは、ローマの城門から逃走した。 市民達が、同姓同名の詩人シナを襲い、ブルータス、キャシアス、キャスカ達の家を焼き払いに向かう。	98	115			ブルータス		アントニー	
				116	118						
第四幕 29頁	1	殺害リストの作成	アントニーの家で、第二回三頭政治のメンバーのアントニー、アクタヴィアス、レピダスが、プロスクリプティオ(国家の敵となる殺害リスト)を作り、平民に分ける遺産をどうやって切り詰めるか、話し合っている。	119	122					アントニー	オクタヴィアス レピダス
	2	ブルータスとキャシアス	サルディス(トルコ・イズミールの東100km)近郊のブルータスの陣営に、キャシアスが到着し、両者の間の誤解を解くために、二人だけで会合を行うことにした。 ブルータスとキャシアスが言い合うが仲直りする。ポーシャが自殺したこと、フィリッピ(ギリシャ・テッサロニキの100km西)で戦うことを決める。ブルータスはリュートを聴いているが、シーザーの亡霊が現れる。	123	126		キャシアス	ブルータス			ルシリアス ピンダラス
第五幕 27頁	1	フィリッピの戦い	フィリッピで、右翼を指揮するオクタヴィアス、左翼を指揮するアントニーが、相手方のブルータスとキャシアスと戦闘前に会見する。ブルータスは、弱気のキャシアスを励まし、もしものために、最後の別れをする。 ブルータスは、オクタヴィアス軍が劣勢なので左翼の各部隊に突撃命令書をメサラに指示する。	149	157		キャシアス	ブルータス		アントニー	オクタヴィアス
	2	キャシアスとティティニアスの死	ブルータス軍はオクタヴィウス軍を破ったが、キャシアス軍はアントニー軍にやられ五分と五分になった。キャシアスは、ティティニアスが敵に捕まったと誤解し自害するも、それを知ったティティニアスも自害する。	158	158						メサラ
	3	カトーの死	ブルータスが劣勢にもかかわらず、部下達を叱咤激励している。しかし、カトーがやられる。ルシリアスは、ブルータスの身代わりとなり、捕まる。	159	166		キャシアス	ブルータス			ティティニアス カトー・メサラ
	4	ブルータスの死	ブルータスは生存している部下に殺すよう頼むが断られる。しかし、部下の剣の上に身を投げて死ぬ。アントニーは「ブルータスだけは、私情も交えず公の大義のため戦った、これこそ人間だった。」と言う。オクタヴィウスも、ブルータスの部下達を讃え、ブルータスに対して手厚く名誉を讃える。	167	170			ブルータス		アントニー	カトー ルシリアス
				171	176			ブルータス		アントニー	オクタヴィアス メサラ ルシリアス ストラト

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。